

## オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2005年7月12日

### 2005年7月10日現在の概況：

7月10日に終わる週の気象は高温・乾燥気象であった。降雨は多少海岸線で見られたのみであった。Willamette盆地での最高気温は84～86度Fとなり、平均気温は平年を1～4度F上回った。NC地区でも平均気温は平年を2～6度F上回り、最高気温は89 (Moro) ～94度F (The Dalles) であった。1週間の降水量は、Willamette盆地の各観測所では0.02～0.51インチ、NE地区では0.03～0.24インチであった。各地の今シーズン (昨年9月1日から現在迄) の積算降水量は平年並みとなった。土壌水分は前週と比較し急激に減少した。1週間の州平均農作業稼働日数は5.7日 (前週：6.5日) であった。Willametteの冬小麦は完熟に向かった。Sherman郡での春小麦の収穫が開始された。但し、同地区の週半ばからの気象は曇りがちで気温が平年以下に下がった為、前週より収穫の始まっていた冬小麦の枯熟が遅れ、収穫作業がスローダウンした。Umatilla郡での冬小麦の収穫が開始されたが、単位収量の発表はなかった。同郡Pendleton近郊では週末の降雨の為収穫開始は数日遅れる結果となった。Union郡では水分からのストレスを呈する小麦が増え、又各地の圃場で急激にRust (黄さび病) が発生し出し作柄を落とした。Wallowa郡の小麦特に春小麦に水分不足のストレスが出ていた。Wasco郡のThe Dalles近郊では7月5日より冬小麦の収穫が開始された。各地で2006年産冬小麦の播種の為、夏季休耕圃場の整備と施肥が開始された。

7月10日現在冬小麦の7% (昨年と同じ、5年平均：4%) が収穫された。春小麦は95%が出穂しこれ等は登熟後期に入った。春小麦の1%が収穫された。冬小麦の作柄は“Fair”と“Good”が減少し“Poor”と“Excellent”が増えた。平年並みの作柄が場所により更に良くなり、一方作柄が悪化した圃場が出た。春小麦はの作柄は前週に比較し悪くなった。水分不足が主たる原因と言える。

7月1日付けUSDA発表の冬小麦の生産予想では、単位収量は6月1日付け発表の58.0 bushels/acreより3 bu/ac多い昨年実績と同じ61.0 bu/acとなった。春小麦の生産量では、単位収量は昨年実績より良く57.0 bu/ac (昨年：48.0 bu/ac) であった。6月からの降雨により土壌水分が改善された事、急激な温度上昇が無かったことがプラス要因となった。詳細は別表の通り。

### 土壌水分：7月10日現在

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	11	27	58	4
Subsoil (%)	13	24	62	1

### 小麦生育状況：7月10日現在

	This Week	Last Week	Last Year	5-Year Ave.
Spring wheat Headed (%)	95	83	80	95
Harvested (%)	1	0	0	0

Winter wheat Harvested (%)	7	7	0	4
----------------------------	---	---	---	---

小麦の作柄状況：7月10日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter Wheat					
This week (%)	1	11	24	44	20
Last week (%)	1	6	34	53	6
Spring Wheat					
This Week (%)	15	22	23	36	4
Last Week (%)	5	13	26	48	8

Source: Oregon Agricultural Statistics Services

7月1日付けUSDA発表冬小麦の生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 Acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 Bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
				June 1	July 1		
OR	780	840	61.0	58.0	61.0	47,580	51,240
USA	34,462	34,271	43.5	44.1	44.5	1,499,434	1,525,302

7月1日付けUSDA春小麦生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
				June 1	July 1		
OR	175	125	48.0	-	57.0	8,400	7,125
State	13,174	13,637	43.2	-	43.2	568,918	588,740

この作柄・気象レポートに関してのご質問は下記にお願い致します。

小川正晃：<mailto:ogawa.max@omicnet.com>